

施策名「日本学術会議に関する施策の推進」

解決すべき
問題・課題

わが国の科学者の内外に対する代表機関として、科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させること。

事業の概要
(アクティビティ)

活動実績
(アウトプット)

中目標
(アウトカム)

施策目標
(インパクト)

各国アカデミーとの交流等の国際的な活動

【インプット】2.17億円

国際会議の日本開催、国際会議への参加及び国際学術団体の総会等への代表派遣

【参考指標】

- ・共同主催国際会議の開催件数
- ・国際シンポジウムの開催回数
- ・アジア学術会議の開催回数
- ・G7サミット等に対する提言として発出した共同声明の数
- ・国際学術団体の総会等への派遣回数

地球規模課題への対応のため、各国アカデミーとの連携を強化する。

【測定指標】

- ・開催した国際シンポジウムの事後アンケートでシンポジウムを肯定的に評価した者の割合

【参考指標】

- ・開催した国際会議への参加人数
- ・共同声明にて提言したものうち、G7サミット等で扱われたテーマの数
- ・派遣した国際会議の平均参加者数

わが国の科学者の内外に対する代表機関として、科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させること。

科学者間ネットワークの構築

【インプット】0.07億円

科学者等を対象とした地区会議公開学術講演会の開催

【参考指標】地区会議公開学術講演会の開催回数

科学者間交流を推進し、科学者内の連携・協力体制を強化する。

【参考指標】地区会議公開学術講演会の参加者数(1回当たり平均値)

科学の役割についての普及・啓発

【インプット】0.06億円

国民を対象とした学術フォーラムの開催

【参考指標】日本学術会議主催学術フォーラム等の開催回数

科学の役割についての国民の認識の向上。

【参考指標】学術フォーラムの参加者数(1回当たり平均値)

政府・社会等への提言等

提言等の作成・発信

社会課題等に関する科学的に中立な提言等の提供等